Mite Mite

「人と、街と、劇場をつなぐ。」 オーバード・ホール情報誌

2022- summer
VOL.
73

AUBADE HALL

チケット発売間近！

朗読劇 泉ピン子の すぐ死ぬんだから

毎日が一生懸命、頑張って、生きていく

「愉快痛快」と日本を元気にした内館牧子のベストセラー小説完全舞台化！

【あらすじ】
78歳の忍（おし）ハナは、60代までは身の回りをかまわなかった。だが、ある日、実年齢より上に見られて目が覚める。「人は中身より外見を磨かねば」と。仲のいい夫と経営してきた酒屋は息子夫婦に譲るが、夫が倒れたことから、思いがけない裏を知ることになる

オーバード・ホールの舞台上に、ステージも客席もしつらえた小劇場空間で、泉ピン子主演、内館牧子原作の朗読劇『すぐ死ぬんだから』を8月に上演します。原作は累計42万部を売り上げたベストセラー小説。これからの人生をよりよく、自分らしく生きるための「終活」がテーマです。この原作に惚れ込んだという泉ピン子が、自ら相手役に村田雄浩を指名。そんなおふたりに、作品に対する印象や本公演への思いを伺いました。

この小説、私がモデル？

泉ピン子 INTERVIEW

――『すぐ死ぬんだから』、ドキリとさせられるタイトルです。オファーがあった時、どんな気持ちでしたか？ 小説を読んだ後のご感想もお聞かせください。

何の話かと思い、読み出すと登場人物の一人一人が面白く一気に読んでしまいました。読み終わり、私がモデル?と思いました(笑) 是非やらせていただきたいと思いました。

――朗読劇に対する思いをお聞かせいただけますか。

朗読劇は一人ですべてやるものです。感情をどう声にのせるか、とても難しいです。杉村春子先生に「台詞は音」と教えて頂きました。台詞でどう皆様に伝えられるか、怖くもあり、楽しみでもあります。

――主人公 忍ハナとの共通点や共感できる部分をお聞かせください。

本当に自分にピッタリです。夫婦も老いてからだと嫌な事も忘れていきます。だからやっていられると思います。後期高齢者になるとわかります。

――お相手役の村田雄浩さんは、ピン子さんのご指名だそうですね。

村田雄浩という役者は、若い頃から腕のある、伸びしろのある、もっともっと良い役者になると思っていました。雄（たけ）ちゃんは私のことを「姉ちゃん」と呼び、私は「タケ」と呼んでいます。本当に楽しみな役者です。

――お稽古中のエピソードがありましたらお聞かせください。

まだ稽古は一回ですが手応えがありました。楽しみにしていてください。かなり面白くなります。いえ、します。

――ご自身の「終活」に関する思いやお考えを教えてください。

終活はなかなか進みません。手紙、写真は見て思い出をなぞっています。着るものは始末出来ます。バッグも好きな人に形見分けしました。でも、考えていると頭がいたくなります。

――最後に、富山の皆さんへ向けてメッセージをお願いします。

富山の皆様　いつも、そして、今まで応援ありがとうございます。初めて富山で演じられることを心待ちにしております。パワフルな朗読劇を村田雄浩と泉ピン子で務めます。泉ピン子の集大成、終活です。是非会いに来てください。

泉ピン子 Pinko Izumi
女優。東京都出身。18歳で歌謡漫談家としてデビュー。75年より日本テレビ系ウィークエンダーでレポーターを務め注目される。以降バラエティ以外にも数多くのドラマで女優として活動の場を広げ、代表作にNHK連続テレビ小説「おしん」、TBS系ドラマ「渡る世間は鬼ばかり」などがある。

村田雄浩 Takehiro Murata
1960年3月18日生まれ。東京都出身。1980年、朝間義隆監督「思えば遠くへ来たもんだ」で映画デビュー。1992年に伊丹十三監督「ミンボーの女」、中島丈博監督「おこげ」で、日本アカデミー賞他、数々の映画賞を受賞。その後も映画、テレビ、舞台などに出演多数。

ハナは、ピン子さんそのまま。

村田雄浩 INTERVIEW

――ピン子さんからご指名があった時、どんな気持ちでしたか？ 小説を読んだ後のご感想もお聞かせください。

ピン子さんからお話をいただいて、はじめは「面白いですね！是非是非やらせてください」とお答えしたのですが…「これを最後の仕事にしたい」とおっしゃったので、そこから緊張が始まりました。

小説はとにかく面白かったですね。登場人物がとてもチャーミングに書かれていて、嫉妬や妬みが生きる活力になっていくのも、ワクワクしながら貪るように読んでしまいました。

――ピン子さん演じるハナの印象をお聞かせいただけますか。

ピン子さんも言ってましたが 、内館先生は忍ハナという役をピン子さんに当てて書いたようにしか思えません。とにかくパワフルで向上心は凄いし。どんな事にも手を抜かない、でも繊細で気遣いも忘れない、本当にそのままです。

――朗読劇ならではの楽しさやご苦労があればお聞かせください。

朗読劇ですから基本的には台詞は覚えません。でも実は覚えてしまった方が楽な瞬間がいくつもありますし、何度もやっていると覚えてしまいます。ただ今回は新鮮さを失いたくないので頑張って覚えないように努力したいと思います。せっかく台本を持っているのだから、最大限にそれを利用出来たら…と思っております。

――ご自身の「終活」に関する思いやお考えを教えてください。

終活にはまだ早いと思っていましたが、早いとか遅いではなく、気がついた時に少しずつ進めた方がいいなと、この本を読んで思いました。とにかく家族やかかわってくれた人たちに迷惑をかけたくないですもんね。

――今回の公演は11時開演という珍しいスケジュールですが、村田さんでしたら、観劇後どのように過ごされますか？

見た芝居が面白くてもつまらなくても、その芝居を肴に昼間から一杯やりたいですね。

――最後に、富山の皆さんへ向けてメッセージをお願いします。

年齢や性別関係なく、どなたでもご自分の経験とオーバーラップするところがあると思います。気軽にお越しください、きっと心が揺さぶられますよ！

より深く作品を味わいたい方に…

小説がどんな風に朗読劇になるのか想像を膨らませたり、観劇後にあらためてご自身の手でページをめくったり。泉ピン子さんが何度も繰り返し読むくらい「ほれちゃった」という原作。観劇のお供にいかがですか。

書籍

『すぐ死ぬんだから』
著：内館牧子
四六変型判
講談社
定価：1,550円（税別）

文庫判
講談社文庫
定価：860円（税別）

コミックス

『すぐ死ぬんだから』全2巻
原作：内館牧子
作画：くさか里樹
希望コミックス
潮出版社
定価：各800円（税別）

公演情報

朗読劇 泉ピン子の「すぐ死ぬんだから」

◆日時：2022年8月17日（水）、8月18日（木）
18：00開演　　11：00開演
◆会場：オーバード・ホール 舞台上特設シアター

原作：内館牧子（講談社文庫）　台本・演出：笹部博司
出演：泉ピン子　村田雄浩　作曲：宮川彬良

◆チケット：［全席指定・税込］
一般：6,000円　U-25：3,000円
※U-25：鑑賞時25歳以下対象。ご入場の際、身分証の提示が必要です。
※未就学児入場不可。
※本公演は舞台上の特設ステージで上演するため、座席数は260席となり椅子の形状が通常と異なります。
◆チケット発売：一般発売 7月10日（日）～
◆プレイガイド：アスネットカウンター ほか
★チケットのお求めはP11「チケット購入方法」をご覧ください。

写真：平賀正明

チケット発売中！

AUBADE HALL Presents

音楽入門講座 ビートルズ大学 TOYAMA がやって来る ヤァ！ヤァ！ヤァ！

開校に際して

◆講師
宮永（みやなが） 正隆（まさたか）
音楽評論家
ビートルズ大学学長

ビートルズ大学とは、ビートルズの貴重映像・音源を教材にして、みんなで楽しむ場です。堅苦しい場ではないのでご安心ください。

2003年に東京・新宿でスタート以来「暗記不要、初心者からマニアまで、ビートル偏差値アップ保証付」を貫いています。

このビー大で私がよく口にするフレーズが“賞味せよ”です。それは「知識・情報」は、真のゴールではなくツール（道具）であり、真のゴールは「それら知識を得てどうビートルズを賞味するか」である、と常に説いているからです。

“腑に落とす”という言葉もちょくちょく出ます。「頭で知っている」と「深い部分で理解する」は全然違う、という体験をこのビートルズ大学ではたくさん体験できます。

具体例として、ここで「ビートルズ来日」早わかり講座のサワリだけ体験していただきましょう。

【誌上ミニ講座】

昭和41（1966）年の「ビートルズ来日」は、今の海外スターの来日騒ぎとはまったく違います。どう違うのか？

■羽田空港までに複数の検問がありファンはすべて帰され、ビートルズの送迎を禁じられた。

■全国各地の教育委員会が「ビートルズ公演に行った者は退学または停学処分とする」と通達した。

■国粋主義者たちは「青少年をダメにするビートルズを日本から叩き出せ」と街宣しビラをまいた。

■ビートルズは警察によって東京ヒルトンホテルに軟禁され、外出を一切許可されなかった。

これまでの文献に一切書かれていない「ビートルズ来日騒ぎの本質」を以下、説明していきます。

当時の体制（大人社会）は、「ビートルズは、世界中で若者を心酔させ、髪を伸ばさせ、PTAにとってのいい子から脱却させる存在」と誤解し、「コンサート会場では歌も聴かずに興奮して泣きわめくばかり」という報道を読み、まるでハメルンの笛吹きのような「若者たちを扇動する教祖が日本にも上陸」と感じ、しかも「我が国でも、成績のよい良家の子女の間に信奉者が増加中」と知り、とてつもない不気味さを感じたのだ、と私は読み解いています。

そればかりではありません。「コンサート後に街にあふれた若者たちが興奮して大騒ぎ、警官隊や放水車まで出た」という海外報道を読み、「日本はどう治安を保てるのか」と不安になったのです。それは2002年のワールドカップ日韓合同開催時に「開催国には必ずフーリガンという荒くれ者が上陸する。どうする日本」と報じられた時のあの不穏な空気が最も近いでしょう。

その一方で、女王から勲章を授与されている国賓ゆえ失礼にも扱えない、まことにわけのわからない存在が来日することになった…。

これこそが「ビートルズ来日騒ぎの本質」です。

さあ、■で列挙したもろもろを読み返してください。すべてがスッと理解できる身体となっているはずです。

…これが「腑に落とす」という体験であり、「暗記不要、ビートル偏差値アップ」という体験です。

今回の「ビートルズ大学 TOYAMA」全6回は、ビートルズを初期・中期・後期に分けた各時期の即習講座です。ビートルズはわずか8年で風貌も作風もどんどん変化し解散したバンドです。時期ごとに、替えのきかない魅力満載ですので、どうぞお楽しみに。

今さら聞けないことだらけのビートルズ。その賞味法を一気に体得する千載一遇のチャンスです。あてたりしませんのでリラックスしてご来場ください。

ビートルズを賞味することは人生を賞味することなり。逆もまた真なり。貴方の人生が豊かになることを願って精魂こめて講義させていただく所存です。

遅刻早退自由。学校・お仕事帰りにもお立ち寄りいただけます。

暗記不要、初心者からマニアまで、ビートル偏差値アップ保証付！

貴方の「今さら聞けない質問」に宮永学長がおこたえ!!

最初に聴くなら、どのアルバムがいいの？

学長の回答：「ザ・ビートルズ1」

ビートルズの歩みをざっと把握できるベスト盤で、映像集も1枚付いた2枚組だから。（余裕がある方は、映像集がもう1枚付いた「ザ・ビートルズ1＋」もいいですよ。）

最初に観るなら、どの映画がいいの？

学長の回答：「HELP！4人はアイドル」

もちろん第1作「ビートルズがやって来るヤァ！ ヤァ！ ヤァ！」から観てもいいのですが、この2作目からカラー作品になり、鮮やかな総天然色で4人の顔とキャラクターを

講座情報

AUBADE HALL Presents
音楽入門講座「ビートルズ大学 TOYAMA」

◆講座日程［全6講座］全日程19:00開講

VOL.1 7月20日（水）	「初期ビートルズの魅力」 世界が熱狂したその秘密とは？
VOL.2 8月24日（水）	「中期ビートルズの魅力1」 世界の頂点に立ち、来日も実現。
VOL.3 9月21日（水）	「中期ビートルズの魅力2」 めくるめくサイケデリック宇宙
VOL.4 10月19日（水）	「後期ビートルズの魅力1」 サイケデリックの次の境地は？
VOL.5 11月9日（水）	「杉真理さんと共に」 ビートルズの賞味法を語り合う ゲスト：杉真理（すぎまさみち）（シンガーソングライター）
VOL.6 12月7日（水）	「後期ビートルズの魅力2」 解散の真相（シークレットテーマもあり）

◆会場：富山市民プラザ アンサンブルホール

◆チケット：［全席指定・税込］
1講座　一般：1,500円／ジュニア：500円
シリーズ通し券　一般：7,800円／ジュニア：2,400円
※ジュニアは小学生から高校生までが対象です。
※未就学児入場不可。

◆プレイガイド：アスネットカウンター
★チケットのお求めは P11「チケット購入方法」をご覧ください。

宮永学長が貴方のために作成！「ビートルズ大学 TOYAMA」全6講座 完全対応版 ビートルズ年表

1962（昭和37）年
「ラブ・ミー・ドゥ」で英国デビュー。

1963（昭和38）年
英国のトップに。
すぐに欧州のトップに。

1964（昭和39）年
全米チャート1位～5位を独占し、遂に世界の頂上に。
主演映画第1作「ビートルズがやって来る ヤァ！ヤァ！ヤァ！」公開。

VOL.1
「初期ビートルズの魅力」で語ります

1965（昭和40）年
主演映画第2作「HELP！4人はアイドル」公開。
夏の全米ツアーは、各地で史上初の野球場コンサートを敢行（全て売り切れ）。

1966（昭和41）年
日本公演が実現し、武道館で初のロック・コンサート。
アルバム「リボルバー」発表。
コンサート活動を一切停止する。

VOL.2
「中期ビートルズの魅力 1」で語ります

1967（昭和42）年
ひげを生やし、豪華けんらんアルバム「サージェント・ペパー」発表。
世界各国リレー宇宙中継で英国を代表し、新曲「愛こそはすべて」発表。
TV特番「マジカル・ミステリー・ツアー」制作。

VOL.3
「中期ビートルズの魅力 2」で語ります

1968（昭和43）年
瞑想修行のためインドへ。
自らのレコード会社「アップル」を設立。
第1弾シングル「ヘイ・ジュード」、第1弾アルバム「ザ・ビートルズ（通称ホワイト・アルバム）」大ヒット。

VOL.4
「後期ビートルズの魅力 1」で語ります

1969（昭和44）年
原点回帰を目指す「ゲットバック・セッション」敢行。
珠玉のアルバム「アビー・ロード」発表。

1970（昭和45）年
ビートルズ解散の報が世界を駆け巡る中、最後のアルバム「レット・イット・ビー」
最後の主演映画「レット・イット・ビー」を同時に発表。

VOL.6
「後期ビートルズの魅力 2」で語ります

※VOL.5は杉真理さんをお迎えして「ビートルズの賞味法を語り合う」をお送りします。

どの回も“腑に落ちる”面白さ。どうぞお楽しみに。

まもなく開催！　コミュニティ・アーツ・ワークショップ2022

講師：なかむらくるみ interview

ありのままに、おどる。

Photo KATO TOMOKO

2021年秋、障がいのある方々とダンスを通じてふれあう「コミュニティ・アーツ・ワークショップ」を開催しました。好評だったことから、今年8〜10月にかけて第2弾が決定。楽器の生演奏や歌ごえとともに、自身のこころとからだが感じるままにおどる時間・空間。昨年に引き続き、講師を務めるダンスアーティストのなかむらくるみさんに、ダンスやワークショップへの思いなどについてお聞きしました。

［第1弾を振り返って］

――コミュニティ・アーツ・ワークショップでは皆さん、とても自由で楽しそうでした。障がいのある方など、さまざまなバックグラウンドのある方々と一緒におどろうと思われたきっかけを教えてください。

約10年前、足にケガをしてダンサーとしての岐路に立っていた時に、さまざまな障がいのある方が通われている施設を訪れる機会がありました。そこで出会った方々は心が裸というか、自分のことを取り繕ったりしないんです。彼らと対峙した時に自分への恥ずかしさと同時に、からだで意思疎通を図れることに心地よさを感じ、「もっと一緒にいたい」と思ったのがきっかけです。

――なかむらくるみさんの参加者の方々へのフラットな対応もとても印象的でした。

もし、フラットだったとしたら、私もみんなと同じように“心を裸にしてそこにいる”ということを強く意識していたからかもしれませんね。例えば、会場を見た瞬間に他者の動作などからいろいろな情報が入ってきますが、私はそれをできるだけありのままに受け取るようにしています。その人の個性や背景などを憶測で判断しないことは、ワークショップで最も大切にしていることですし、常に心に留めていることでもあります。

まっさらな状態で他者を素直に受け止めるには、自分のこともありのままに捉えなければいけないので、勇気を持って自身の体調や心情に向き合うようにしていますね。この作業は容易ではありませんが、これまでの活動でさまざまな想定外に遭遇できていることが、今につながっているのかもしれません。

――おどりに対して大切にされていることをお聞かせください。

コミュニティ・アーツ・ワークショップは、ダンスの上達を目指すための場ではないと認識しています。そんな中で私が大切にしたいのは、いかに参加者の方々の日常とダンスを結びつけられるかどうか。身近な言葉やイメージしやすい動作など、日常生活に散りばめられている要素をおどりに用いることを大事にしています。

また、私たちは普段、他者に心を配ったり、場の空気を読んだりと、自分の外側に意識を向けることがすごく多いと思います。ただ、このワークショップでは、一人ひとりのからだが主役として存在しないと場が成立しないので、自分の内側に意識を向けておどりを感じてもらうことも大切にしています。

［第2弾に向けて］

――今回のワークショップに向けて、今取り組まれていることを教えてください。

当日の参加者を想像して自分の中の引き出しを用意しています。まずクラスのテーマやコンセプトを元にどんなイメージを使うか、そしてどのようなからだの動きが生まれるかを想像します。当日は、それを頭の中に入れた状態で一旦リセットして、参加者の方の動きや場の空気、天候や気温なども構成に取り入れていきます。引き出しの開け閉めを忙(せわ)しなく行うので、私にとっては頭のワークショップですね。基本的に大事にしていることは昨年と変わらないので、今年もありのままを受け取りつつ、日常とダンスをつなげていけたらと思っています。

――こども部とおとな部に分けられているのは、なぜですか？

こどもとおとなでは大人数が集まった時の場の雰囲気が違いますよね。こどもは動的に動きたいかもしれませんし、おとなはゆったりと自分の内側を見つめたいかもしれません。個人差はありますが、年齢のニーズに応えるために分けています。また、体格差による事故や怪我などを防ぐためでもあります。

――ダンスカンパニー「あら・おるズ」が参加されるワークショップもありますが、彼らの魅力をお聞かせください。

あら・おるズは小学生から60代までの約20名のダンサー集団です。彼らは、すごく自由ですね。身体表現に対して前向きで、それを大事にしている人たちの集まりなので、彼らが揃うだけで平和な時間・空間がスッと成立します。

［ダンスのある未来］

――ワークショップとは別に、いま力を注がれているご自身の活動を教えてください。

今年の7月から冬にかけて、ダンスドキュメンタリー映像作品『なやみの種』を一緒に制作した映像作家の野田亮さんと、知的な障がいのある人を含むアーティスト大集団「音遊びの会」とともに、新しい作品を作るためのプロジェクトを始めます。私が「音遊びの会」の活動拠点である神戸に長期滞在したり、「音遊びの会」が金沢に来たりしながら、金沢、神戸で映像作品や舞台作品を発表していく予定です。

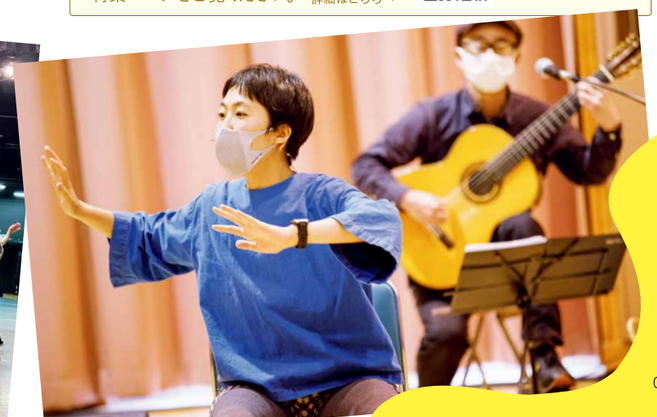
今回、コミュニティ・アーツ・ワークショップの特別企画として『なやみの種』の上映会＆トークを行う予定なので、ぜひ見ていただきたいです。

――最後にダンスを通して、多くの人に伝えたいことはありますか？

ダンスは、自分のからだと付き合う、一つの方法ではないかと思っていて。ダンスをすることで、高級なエステに行かなくても、高いバッグを持って着飾らなくても、自分の知らない一面に出会えるし、気持ちも楽しくなれると常に思っています。こころが豊かになり、自分にも他人にも優しくなれると思います。心身ともに自由になれるダンスワークショップの場を、富山で持てる貴重な機会に感謝しています。ちょっとでも気になる方、ぜひ会いに来てください。

聞き手・文 上坂真紀（ライター）

なかむらくるみ（ダンスアーティスト） 石川県金沢市生まれ。ソコニダンス by KURUMI NAKAMURA主宰。国内外の美術博物館や県内外の教育機関、福祉施設を拠点にワークショップを実施。ダンスカンパニー「あら・おるズ」ディレクター。さまざまな人の身体の美しさを社会に魅せる作品を制作・発表している。https://sokonidance.com/



ワークショップ概要

AUBADE HALL Presents
コミュニティ・アーツ・ワークショップ2022

◆講師：なかむらくるみ
◆演奏：石川征樹（ギター　8/21、9/4、10/1・2）
　　カワダユカリ（こえ＜声＞　8/6・7、9/4、10/1・2）
◆アシスタント：松田百世（8/6・7、9/4、10/1・2）
◆会場：富山市民芸術創造センター 舞台稽古場（※10/2は芝生エリア予定）
◆定員：各回15名ほど　※申込多数の場合は各回抽選
◆参加料：500円　※障がいのある方の付き添いの方1名は参加無料
◆申込期間：［その1〜3］7/1（金）〜11（月）　［その4］8/29（月）〜9/7（水）

その1　みんなでおどろう！【こども部】
歌ごえや音と一緒に自由に楽しくおどる60分。
【日時】8/6（土）11:00 ／ 7日（日）11:00
【対象】知的障がい、発達障がいのある児童・生徒、そのご家族・ご友人

その2　みんなでおどろう！【おとな部】
ダンスカンパニー「あら・おるズ」のメンバーと一緒におどりませんか？
【日時】8/21（日）11:00
【対象】知的障がい、発達障がいのある18歳以上の方、そのご家族・ご友人、このワークショップに興味のある方

その3　からだ、おと、おどる！【こども部】
からだと楽器を、さわる！ならす！そして、おどる！
【日時】9/4（日）11:00
【対象】肢体不自由のある児童・生徒、そのご家族・ご友人

その4　おどるって、とってもノンバーバル！
言葉にたよらない心地よさに身をまかせ、じぶんオリジナルを発見しよう！
【日時】10/1（土）11:00 ／ 2日（日）11:00
【対象】中学生以上で、聴覚に障がいのある方、言語コミュニケーションが苦手な方、このワークショップに興味のある方

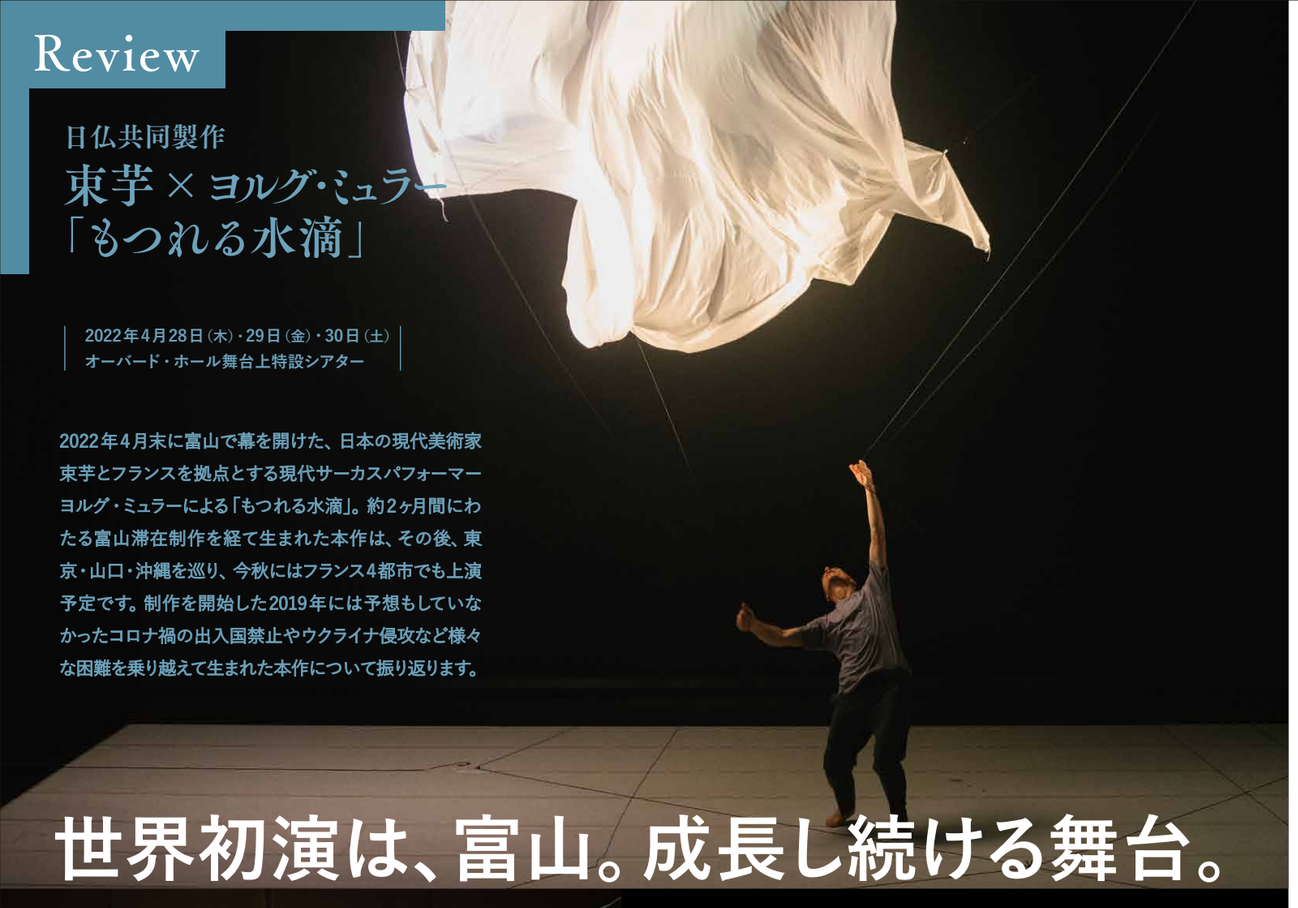
特別企画

ダンスドキュメンタリー映像作品『なやみの種』上映会＆トーク

なかむらくるみと野田亮が、「あら・おるズ」メンバー5人5通りの“好きすぎて仕方がない気持ち”を、ダンスと言葉という2種類のコミュニケーションツールでとらえた映像作品。
◆トークゲスト：なかむらくるみ、野田亮、魚琳太郎＆林芳樹（あら・おるズ）
◆日時：7/31（日）14:00 〜（上映時間約40分、トーク約60分予定）
◆会場：オーバード・ホール1Fハイビジョンシアター
◆参加料：無料　◆定員：50名　※先着順、定員に達し次第受付終了
◆申込期間：7/4（月）〜

申込方法・詳細

オーバード・ホールHP内
特集ページをご覧ください。　詳細はこちら→



日仏共同製作

東芋 × ヨルグ・ミュラー「もつれる水滴」

2022年4月28日（木）・29日（金）・30日（土）
オーバード・ホール舞台上特設シアター

2022年4月末に富山で幕を開けた、日本の現代美術家東芋とフランスを拠点とする現代サーカスパフォーマーヨルグ・ミュラーによる「もつれる水滴」。約2ヶ月間にわたる富山滞在制作を経て生まれた本作は、その後、東京・山口・沖縄を巡り、今秋にはフランス4都市でも上演予定です。制作を開始した2019年には予想もしていなかったコロナ禍の出入国禁止やウクライナ侵攻など様々な困難を乗り越えて生まれた本作について振り返ります。

世界初演は、富山。成長し続ける舞台。

撮影：空耳カメラ

アートアニメーションと現代サーカスの出会い。東芋とヨルグ・ミュラーによる新作「もつれる水滴」は、久しぶりに刺激的なステージだった。

現代サーカスは、“サーカス”から連想されるものとは全く異なり、いわゆる“コンテンポラリー・アート”と呼ぶに相応しく、ダンスやアートパフォーマンスに近い。それに、さまざまな世界の「断面」を映し出す東芋のアニメーションが融合した。デビュー当時から東芋の作品を観てきて、まったく別の興味から現代サーカスも観てきた私にとって、その両方が融合した作品の登場は、まさにアメイジングな事件であった。

何もない空間で、巨大な布を自在に操るジャグリングにより、人と物が呼応し合った不思議な空間を創出するヨルグ。布をまとったヨルグのボディに映像を投影したりしながら、シュルレアリスティックな世界を展開する東芋。そして、水をイメージした東芋の映像の中、ヨルグとダンサーの間宮千晴が「もつれあい」ながらクライマックスを迎える。

時間芸術と空間表現、あるいは2次元と3次元の融合というべきだろうか。本作は、「生きるアート」として、立ち会った観衆に衝撃的なアート体験を与えたと確信している。

演者の主従関係がはっきりした作品と異なり、見える映像や身体表現と、見えないヴォイスや音楽が絡み合いながら作り上げられた空間は、緊張感に包まれ終始目が離せず、70分の上演時間があっという間に過ぎて行った。

また、本作の成立には、制作環境の確保が重視されたが、それに対応可能な富山市民芸術創造センターという施設の存在も忘れてはならない。

何よりも、このような新しい表現が、世界的なアーティストによって富山という地方を拠点に生み出され、世界に発信できるようになったことが最大の収穫だったと言えるのではないだろうか。

八木宏昌（富山県美術館主幹・学芸課長）

舞台芸術の創造には稽古場と劇場が不可欠ですが、富山は充実した環境が整っています。全国でも類のない47の稽古場・スタジオを有する富山市民芸術創造センター、オーバード・ホール（客席数2196席）に加え、2023年夏には中規模ホール（客席数652席）も新たにオープンします。今回のようなアーティストの滞在制作は、その強みを活かしたプロジェクトです。富山で新たな芸術作品を生み出すことと同様に、アーティストや作品との多様な出会いを創出するため、異なるジャンルとの協働も積極的に展開したいと考えています。思いがけない出会いが、富山の人の生活を豊かにし、好奇心を刺激する。オーバード・ホールは、そんな劇場でありたいと思っています。

▲ヨルグ・ミュラー ワークショップ「Juggling is a game」（4月9日）：ジャグリングに挑戦。東芋さんも飛び入り参加。

▲「#富山カフェ部」さんとコラボした「もつれるスイーツ」。世界初演を記念した特別メニューを限定販売。

▲アートドキュメンタリー「tabi-imo: Tabaimo 2011-2017」上映会（4月19日）。

▲世界初演記念ステッカーを配布しました！

▲バックステージツアー（4月29日）。

▲ヨルグさん富山入り。ようこそ。

▲ヨルグさん、移動はいつも自転車。流通センターで見つけた掘り出し物が大活躍！

▲稽古場までの道のり。

▲お手製のイースターエッグ「もつれるたまご」。

ALBUM

「もつれる水滴」は、関連企画も充実！ ワークショップを通してアーティストと直にふれあったり、作品をイメージしたコラボスイーツでの美味しい体験が世界を覗くきっかけになったり…。またアーティストの皆さんが、富山でどのように過ごされていたか。稽古場での様子や日常風景など、チャーミングな素顔に迫りました。

クリエーション in 富山
2021/12/2 → 12/24
2022/4/2 ⟶ 4/30

▲富山の共同生活では自炊もして。

▲ホタルイカが旬！ 東芋さんもお気に入り。富山のお魚がたびたび食卓に。

▲ヨルグさんお気に入りの「べんぎん食堂」でサイン。

▲オフには氷見まで足を延ばしました。

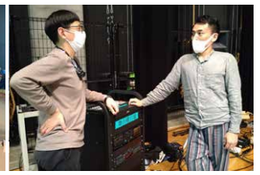
▲温泉後にビール。注文と違う中ジョッキが出てきてびっくりなヨルグさん。

▲深夜の駅前らーめん「ひげ」へ。

▲ヨルグさんファミリーは、一戸建てのゲストハウスに滞在。

▲様々な質感の布を検証。静電気がすごい！

▲ディスカッションが非常に多いカンパニー。



▲話し合いを重ねて音楽をつくるミュージシャンたち。

▲東芋さんのドローイング。

▲楽屋オフショット。

▲東芋さんとヨルグさん。

▲舞台スタッフとのやりとりに、言語の壁は気にならないヨルグさん。

▲待ち時間に発生したストレッチ。

▲芸術創造センターで過ごした最終日。

▲アーティストもスタッフも通訳も、枠を超えて舞台装置に関わる作業に取り組みます。

▲オーバード・ホールの楽屋には、上演記念のガラス板。

▲カーテンコール。

主催公演情報

※情報は2022年6月20日現在のものです。新型コロナウイルス感染対策を講じて開催します。感染状況によっては開催に変更が生じる場合がございます。ご来場前にはオーバード・ホール公式HPで最新情報をご確認いただきますようお願いします。

7／9 Sat　森山開次　新版・NINJA

おとなも子どもも楽しめる新感覚のダンス公演！
◆ 演出・振付・アートディレクション＝森山開次
◆ 出演＝森山開次、浅沼圭、碓井菜央、中川賢、中川奈奈、引間文佳、藤村港平、美木マサオ、水島晃太郎、宮河愛一郎
◆ 開演＝14：00　◆ 会場＝オーバード・ホール
◆ 料金＝[全席指定・税込]
S席 一般 5,000円／ジュニア 2,500円
A席 一般 4,000円／ジュニア 2,000円

© 鹿摩隆司

好評発売中

8／10 Wed　10／7 Fri　市民のためのランチタイム ジョイフル コンサート

◆ 時間＝11：50〜12：50
Vol.84（キッズコンサート） 8/10（水）
◆ 出演＝西浦由佳里（ソプラノ）、小林大祐（バリトン）、西森久美子（ヴァイオリン）、上森菜未（チューバ）、中川歩美（ピアノ）
◆ 会場＝富山市民プラザ　アンサンブルホール
Vol.85 10/7（金）
◆ 出演＝渋谷優花（ヴァイオリン）、西田宏美（クラリネット）、中野悠里（ピアノ）
◆ 会場＝富山市民プラザ　アトリウム

入場無料　※状況によっては入場者数を制限する場合がございます。

9〜12月（全14回）　オーバード・ホール アウトリーチ企画 ウィークエンド・コンサート 2022

街なかへ、海辺の町へ、山あいへ―。
あなたのまちへ音楽をお届けします。
◆ 会場＝富山市内各地区

詳細はオーバード・ホールHP内特集ページをご覧ください。☞

入場無料

9／9 Fri〜11 Sun　2022年 劇団☆新感線42周年興行・秋公演 SHINKANSEN☆RX「薔薇とサムライ2-海賊女王の帰還-」

古田新太×天海祐希の大ヒット舞台『薔薇とサムライ』が12年ぶりに堂々復活！
4年ぶりの“音モノ”Rシリーズ！生バンドの演奏で心も体も震わせろ！
◆ 作＝中島かずき　◆ 演出＝いのうえひでのり
◆ 出演＝古田新太、天海祐希 ほか
◆ 開演＝9/9（金） 12：30
9/10（土）12：30 ／ 18：00
9/11（日）12：30
◆ 会場＝オーバード・ホール
◆ 料金＝[全席指定・税込] S席 13,800円
A席 11,000円　B席 7,500円

好評発売中

9／14 Wed　宝塚歌劇 星組 富山公演

世代を超えて楽しめる、豪華絢爛なステージをお楽しみください。
◆ 出演＝礼真琴、舞空瞳 ほか
◆ 演目＝ミュージカル・プレイ「モンテ・クリスト伯」
レビュー・エスパーニャ「Gran Cantante!!」
◆ 開演＝13：30 ／ 18：00
◆ 会場＝オーバード・ホール
◆ 料金＝[全席指定・税込]
S席 8,300円　A席 5,500円　B席 3,500円

© 宝塚歌劇団

好評発売中

9／15 Thu　劇場が結ぶ、本と音楽の世界 vol.2「マチネの終わりに」

ベストセラー小説で、映画化もされた『マチネの終わりに』。
作中にも登場したクラシックギターの演奏とトークで作品の魅力を語ります。
◆ 出演＝平野啓一郎（小説家）、大萩康司（ギター）、浦久俊彦（ナビゲーター）
◆ 演奏曲＝タレガ：アルハンブラの想い出
菅野祐悟：幸福の硬貨（マチネの終わりにメインテーマ）ほか
◆ 開演＝19：00
◆ 会場＝オーバード・ホール
◆ 料金＝[全席指定・税込]
一般 3,000円／ジュニア 1,000円

平野啓一郎

© 瀧本幹也

大萩康司

©SHIMON SEKIYA

好評発売中

9／17 Sat　11／20 Sun　桐朋アカデミー・オーケストラ 特別演奏会

9/17（土）
◆ 指揮＝尾高忠明
◆ チェロ＝銅銀久弥
◆ 演奏曲＝ドヴォルザーク：チェロ協奏曲
ショスタコーヴィチ：交響曲第5番
◆ 開演＝14：00
◆ 会場＝オーバード・ホール
◆ 料金＝[全席自由・税込]
一般 3,000円
（友の会会員・学生　無料）

11/20（日）
◆ 指揮＝ジョセフ・ウォルフ
◆ クラリネット＝亀井良信
◆ 演奏曲＝リスト：交響詩「オルフェウス」
フランセ：クラリネット協奏曲
ベルリオーズ：幻想交響曲

一般発売日：9月1日（木）〜

10／15 Sat〜17 Mon　ミュージカル「ミス・サイゴン」

少女と米軍兵士の悲恋を描く名作ミュージカル。
2020年に中止となった公演が、ついに富山へ！
◆ 出演＝市村正親・駒田一・東山義久（トリプルキャスト）、昆夏美・屋比久知奈（ダブルキャスト）ほか
◆ 開演＝10/15（土）12：00 ／ 17：00
10/16（日）12：00　10/17（月）12：00
◆ 会場＝オーバード・ホール
◆ 料金＝[全席指定・税込]
S席 15,000円　A席 9,500円
B席 6,000円　U-25 4,000円

一般発売日：7月16日（土）〜

U-25：25歳以下対象の座席引換券。座席はお選びいただけません。
公演当日、当日券窓口で身分証をご提示の上、入場券とお引換えください。
※年齢による入場制限については、各公演で異なります。

ワークショップ

9月コース 9／17 Sat〜19 Mon　10月コース 10／8 Sat〜10 Mon　AUBADE HALL Presents「WE♡MUSICAL」2022 シーンスタディ 3Days

ミュージカルのワンシーンを、連続3日間で集中して創り上げます。（9月または10月いずれかのコース）
◆ 題材＝『キス・ミー・ケイト』より「アナザー・オープン、アナザー・ショー」予定
◆ 講師＝本間憲一（演出・振付）、境田桃子（音楽監督・ピアノ）、王子菜摘子（歌唱・ノンバーバル指導）、松本和宜（9月コース 演出・振付助手）、庄野早冴子（10月コース 演出・振付助手）
◆ 対象＝小学4年生以上
◆ 定員＝各クラス15名程度（応募多数の場合は各クラス抽選）
◆ 会場＝富山市民芸術創造センター
◆ 受講料＝各クラス 9,000円
◆ 応募期間＝7/19（火）〜31（日）
◆ 応募方法・詳細＝オーバード・ホールHP内特集ページよりお申し込みください。☞

2019年度ワークショップ風景

AUBADE HALL calendar 2022.7〜10

アスネット …アスネットチケット取扱い
下記は2022年6月20日現在の情報です。変更および追加となる場合があります。

7	9（土）	森山開次　新版・NINJA　問 富山市民文化事業団：076-445-5610 アスネット
	12（火）	RYUJI IMAICHI　問 キョードー北陸チケットセンター：025-245-5100
	16（土）	いきいき友の会「第31回講演と演芸のつどい」　問（福）富山県社会福祉協議会いきいき長寿センター：076-432-6010
	17（日）	第55回　富山中部高等学校吹奏楽部定期演奏会　問 富山県立富山中部高等学校：076-441-3541
	18（月・祝）	郷ひろみ　Hiromi Go Concert 50th Anniversary Celebration Tour2022 ～ Keep Singing ～　問 サンライズプロモーション北陸：025-246-3939
	24（日）〜26（火）	第27回 オーバード・ホール 劇場ツアー　問 オーバード・ホール管理課：076-445-5620
	30（土）・8/3（水）	第4回とやま世界こども舞台芸術祭（PAT2022）　問 とやま世界こども舞台芸術祭実行委員会：076-441-8635
8	14（日）	JUJU　問 キョードー北陸チケットセンター：025-245-5100
	17（水）・18（木）	朗読劇 泉ピン子の「すぐ死ぬんだから」　問 富山市民文化事業団：076-445-5610 アスネット
	21（日）	オーケストラ・アンサンブル金沢富山特別公演 with合唱団OEKとやま　問（公財）石川県音楽文化振興事業団：076-232-8111 アスネット
9	9（金）〜11（日）	2022年 劇団☆新感線42周年興行・秋公演 SHINKANSEN☆RX「薔薇とサムライ2ー海賊女王の帰還ー」　問 サンライズプロモーション北陸：025-246-3939 アスネット
	14（水）	宝塚歌劇　星組　富山公演　問 イッセイプランニング：076-444-6666 アスネット
	15（木）	劇場が結ぶ、本と音楽の世界　vol.2「マチネの終わりに」　問 富山市民文化事業団：076-445-5610 アスネット
	17（土）	桐朋アカデミー・オーケストラ 特別演奏会　問 桐朋学園音楽部門 富山キャンパス事務部教学課：076-434-6800 アスネット
	18（日）	劇団四季ミュージカル「ロボット・イン・ザ・ガーデン」　問 劇団四季 全国営業部：0570-008-110 アスネット
	19（月・祝）	島田純子フラメンコ教室ALEGRIA　20周年記念公演　問 島田純子フラメンコ教室ALEGRIA：090-5459-0767 アスネット
	23（金・祝）	ミュージカル「DOROTHY～オズの魔法使い～」　問 富山テレビ放送事業部：076-492-7106 アスネット
10	15（土）〜17（月）	ミュージカル「ミス・サイゴン」　問 北日本新聞社事業部：076-445-3355 アスネット

チケット購入方法

アスネットカウンターでお買い求めください。

インターネット
アスネットオンラインチケット
www.aubade.or.jp 24時間予約可能
※ご利用の際には会員登録が必要です。

電話予約
窓口販売
アスネットカウンター（オーバード・ホール1F）
TEL. 076-445-5511
10：00〜18：00
定休日：月曜（月曜が祝日の場合、翌平日休み）

オーバード・ホール会員システム「アスネット」

お得に楽しくシアターライフを満喫するためのオーバード・ホール会員システム。
ご登録いただくと、インターネットで24時間チケットのご予約が可能です。
「アスネット」には、「アスネット会員」「メール会員」2種類の会員システムがあります。

アスネット会員（年会費：1,800円） ※特典1、2については1公演につき通常4枚まで。対象外の公演もございます。
- 特典1 公演チケットの先行販売
- 特典2 公演チケットの割引販売 10%OFF
- 特典3 Mite Mite や公演情報の送付

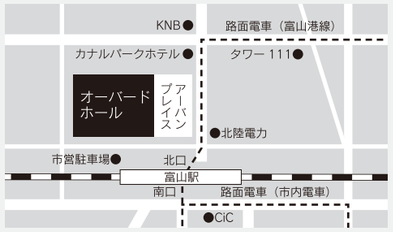
メール会員（年会費：無料）
- 特典1 公演情報のメルマガ配信

入会方法
- インターネットからお申込（オーバード・ホール HPより）
- アスネットカウンター窓口でのお申込（オーバード・ホール 1F）

オーバード・ホール公式SNSでは、主催公演などの最新情報を随時アップしています。ぜひフォロー＆いいね！してください♪

http://www.aubade.or.jp
オーバード・ホール
最新情報はHPをご覧ください

交通のご案内
鉄道利用：富山駅下車、北口正面から徒歩2分
航空利用：富山空港よりタクシーで約25分、バスで富山駅まで約30分
お車利用：北陸自動車道 富山I.C.出口から約20分



オーバード・ホール（富山市芸術文化ホール）
〒930-0858 富山県富山市牛島町9-28
TEL.076-445-5620

ミテミテ73- 2022.Summer号　発行日：2022年7月4日　発行所：公益財団法人 富山市民文化事業団 TEL.076-445-5610　企画・編集：Mite Mite編集室　Design：CROSS　Cover Photo：Gaku Imadera

役者に本と出会わせる

演劇との関りの出発点は、演劇書の出版だ。大学を出て、当てもなく東京に出て、演劇をやりたいと思いながら、プータローで何年も過ぎ、たまたま募集していた書店に勤めた。担当したのが文学書、その一角にちんまりと演劇書のコーナーがあった。「こんな本が欲しいんですが」と演劇をやっているらしい若者が言う。彼らはブロードウェイやウエスト・エンドで上演されている台本が欲しかった。「じゃ、それを出版すればいい」、そう思った。

出版社の名前はそのものずばり「劇書房」、そしてまさに出会いというのはちょうどいい時にやってくる。それが青井陽治だ。彼の翻訳する戯曲は分かり易く、言葉が生きている。「審判」「ベント」を出版。そして松岡和子、「ローゼンクランツとギルデンスターンは死んだ」「ドレッサー」「クラウド9」を出版。彼女にはアヴァンギャルドな作品が合った。二人が両輪となった。出版したものの戯曲はなかなか売れない。では、どうすればいいのか。上演して評判になればと思った。演劇界に知り合いもコネも皆無。ええい、体当たりだ。

1980年代に江守徹「審判」を上演。続いて矢崎滋・角野卓造の「ローゼンクランツとギルデンスターンは死んだ」、山﨑努・渡辺謙「ピサロ」、大竹しのぶ「奇跡の人」、三國連太郎「ドレッサー」、西城秀樹・鳳蘭・市村正親「ラブ」が実現した。

どうしてあんなにうまくいったんだろうか。役者に本と出会わせる。結局、それに尽きるということだ。役者はいい本に出会いたいと思っている。

1990年は白石加代子「メアリー・ステュアート」から始まった。まさにちょうどいい出会い。白石加代子の舞台が続く。「女たちの十二夜」「トップガールズ」「百物語」「身毒丸」。「身毒丸」の演出は蜷川幸雄。蜷川さんもいい企画がほしいと思っていた。とっておきの企画、上演時間9時間のギリシャ劇「グリークス」は10年以上温めていたが、規模が大きくて実現しなかった。蜷川幸雄がコクーンの芸術監督になった。耳元で囁いた。「どさくさに紛れて、9時間の芝居やらない」

文：笹部博司

笹部博司 Sasabe Hiroshi：
1977年に演劇・戯曲を専門とする出版社「劇書房」、1990年に演劇製作会社「メジャーリーグ」を設立。りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館の演劇部門芸術監督を2021年3月末まで務める。最近は演出も。井上芳雄・上白石萌歌「星の王子さま」、泉ピン子「すぐ死ぬんだから」など。